

令和 8 年 5 月 11 日
いじめ・いのちについて考える日

生徒の皆さんへ

あなたの「今日」は、誰かが生きたかった「明日」

皆さん、おはようございます。

今日、5月11日は「いじめ・いのちについて考える日」です。かつて、いじめによって尊い命が失われたという事実を私たちは決して忘れず、二度と同じ悲しみを繰り返さないと誓う日です。

私はふだんから皆さんに、「私たちが生きている今日は、昨日、何らかの理由で亡くなった人が、どうしても生きたかった明日なんや」という話をしています。覚えていますか？

今、皆さんが吸っている空気、温かい体温、そして友達と交わす何気ない会話。それら全てが、当たり前ものではありません。生きたくても生きられなかった誰かにとって、皆さんの「今日」は、喉から手が出るほど欲しかった、輝かしい未来そのものなのです。

そんな、かけがえのない大切な一日を、私たちは生きています。だからこそ、自分という存在を、そして隣にいる仲間の存在を、心の底から大切にしてほしいのです。

しかし、その大切な毎日を地獄に変えてしまうのが「いじめ」です。

いじめは、相手の「明日」を奪う行為です。本校から、そして皆さんの未来からいじめをなくすために、今日改めて、この三つの決意を心に刻んでください。

それは、「いじめを絶対にしない・させない・許さない」ということです。

「しない」：言葉や態度で、誰かの尊厳を傷つけることは絶対にしません。

「させない」：もし周りで苦しんでいる人がいたら、見て見ぬふりをせず、小さな勇気を出して誰かに相談してください。

「許さない」：いじめを「面白い」と同調したり、あきらめたりする空気を作らせない。

この三つは、皆さんが自分自身を誇れる人間でいるための「約束」です。

皆さんの「今日」という時間は、未来への希望で満ちあふれているべきものです。

誰一人として、学校に来るのが辛い、夜眠るのが怖いという思いをさせてはいけません。

今日、この後、教室に戻ってからもう一度考えてみてください。

「自分の言動は、誰かの『明日』を奪っていないか。自分と仲間の『いのち』を大切にできているか」ということを。

生徒会を中心に生徒議会でも取り組み、先生たちとも一緒に学校全体で考えていくべきことだと思います。

一人ひとりが「しない・させない・許さない」という強い心を持つことで、この学校を、誰もが安心して「明日」を楽しみにできる場所にしていきましょう。

大阪市立歌島中学校
校長 水本 佳伸